



報道発表

平成29年2月23日
東京税関

覚醒剤の押収量、過去最高！

覚醒剤の摘発件数は50件、押収量は約447kg

～平成28年の東京税関における不正薬物密輸入事犯の取締り状況～

東京税関において平成28年中に摘発した不正薬物※1は、合計で241件/約485kg※2となった。内訳は、覚醒剤50件/約447kg、大麻33件/約5kg、麻薬27件/約24kg、向精神薬1件/200錠、指定薬物※3130件/約8kgであった。

[主な特徴]

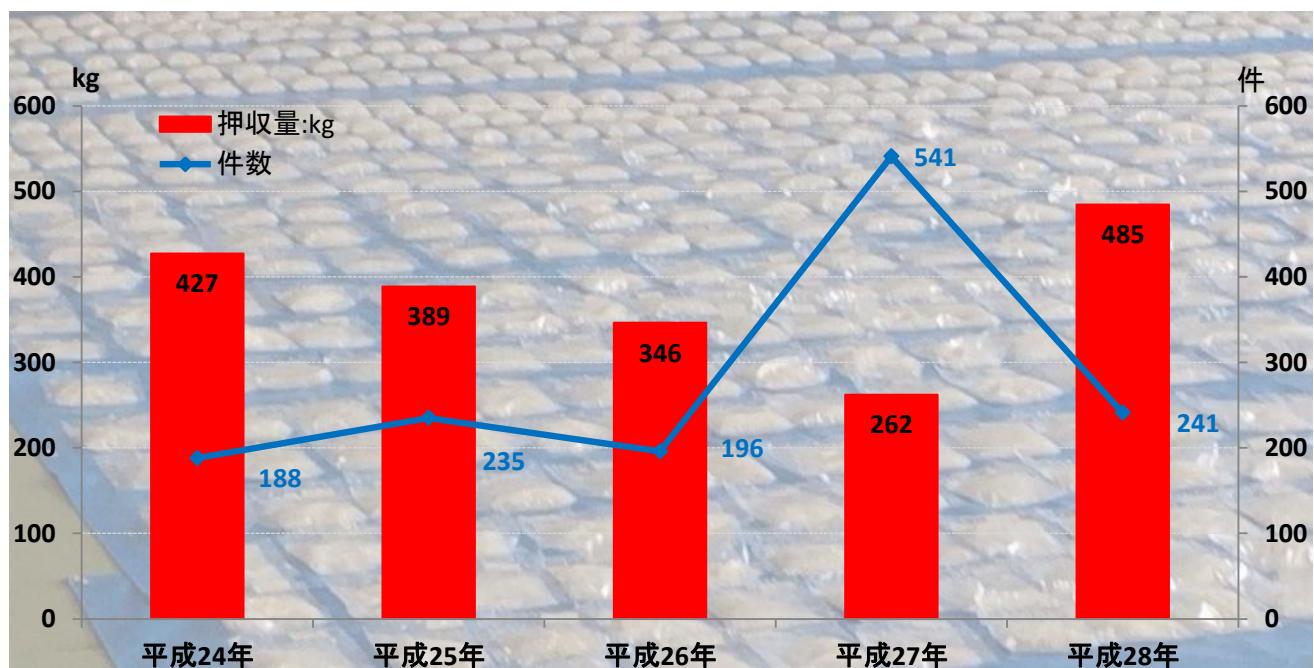
- ◆ 覚醒剤の押収量は、不正薬物密輸入事犯全体の約9割
- ◆ 海上貨物による覚醒剤の大口密輸入事犯を摘発
- ◆ 覚醒剤の仕出国は、依然として中国（香港、マカオを含む）が中心

※1 覚醒剤、大麻、あへん、麻薬（ヘロイン、コカイン、MDMA等）、向精神薬及び指定薬物をいう
資料1：「東京税関における社会悪物品の摘発実績」参照

※2 押収量には錠剤型薬物を含まない
平成28年の実績は速報値

※3 中枢神経系の興奮・抑制・幻覚の作用を有する蓋然性が高く、人の身体に使用された場合に保健衛生上の危害が発生するおそれがあるとして、厚生労働大臣が指定する薬物（医薬品医療機器等法第2条第15項）

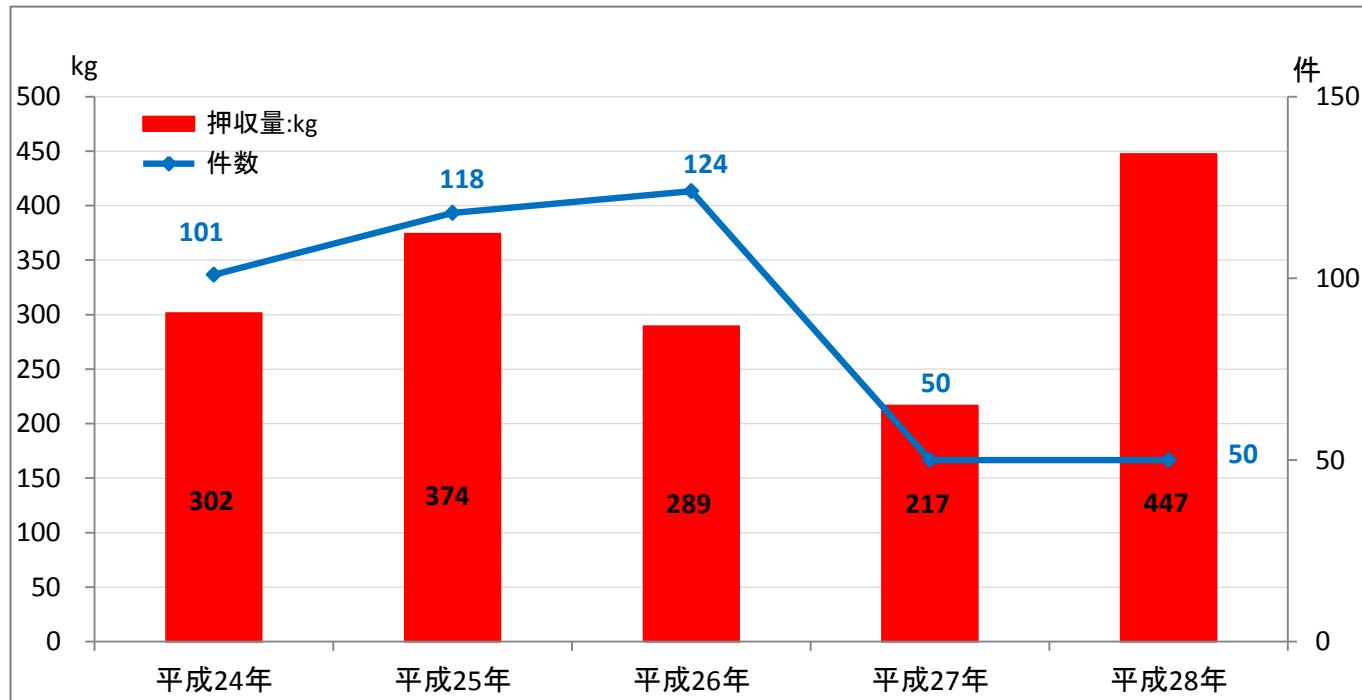
東京税関における不正薬物摘発実績



1 覚醒剤密輸入事犯の概況

- 押収量は約447kgと過去最高を記録
- 不正薬物全体の押収量の約9割を占め、不正薬物密輸入事犯の中心となっている

東京税関における覚醒剤摘発実績



(1) 密輸入形態

- 商業貨物における押収量が大幅に増加
特に、海上貨物は前年の約4倍となる約300kgを押収
- 航空機旅客における摘発は、押収量は前年とほぼ変わらないが、摘発件数は増加
- 国際郵便における摘発は、4件/約17kgと前年（11件/約2kg）に比べ摘発件数は減少したが、
押収量は大幅に増加

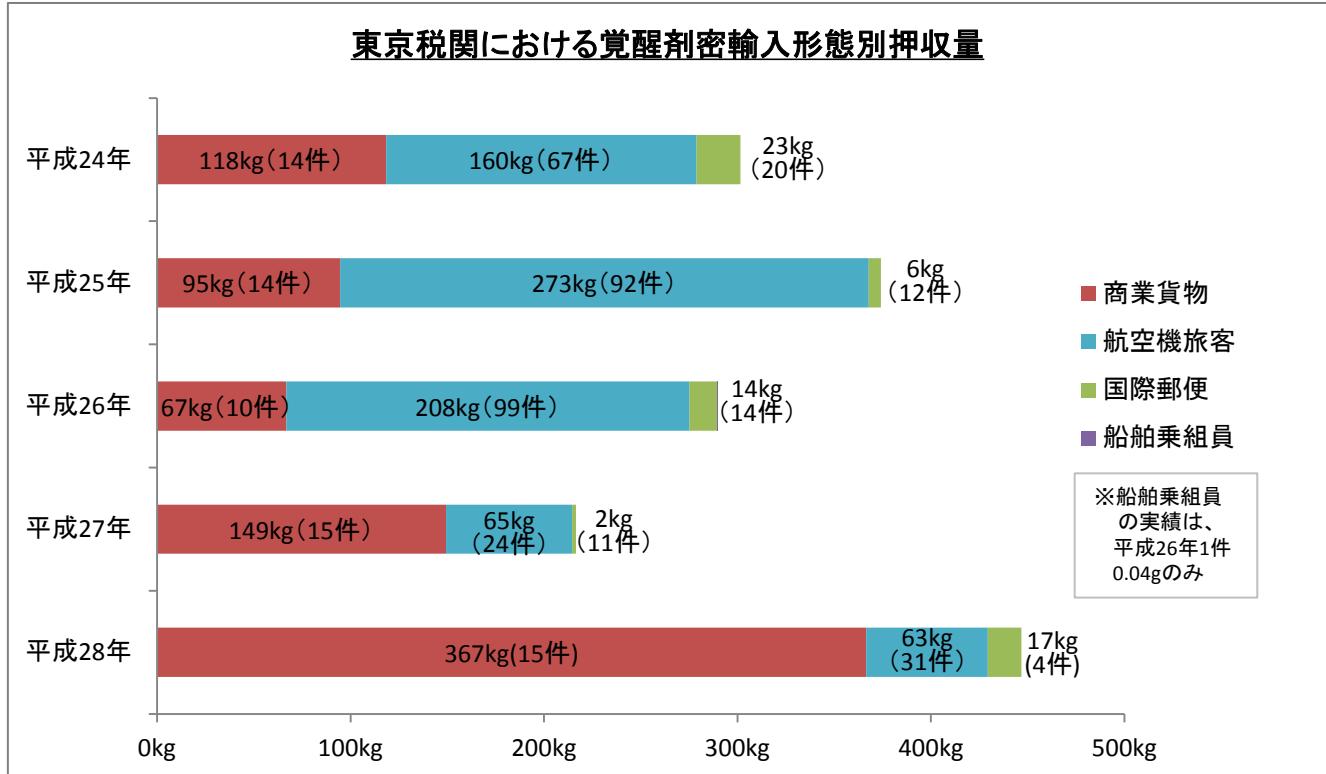
東京税関における形態別覚醒剤摘発実績

（摘発件数／押収量）

	平成24年		平成25年		平成26年		平成27年		平成28年	
航空機旅客	67件	160kg	92件	273kg	99件	208kg	24件	65kg	31件	63kg
商業貨物	14件	118kg	14件	95kg	10件	67kg	15件	149kg	15件	367kg
海上貨物	1件	43kg	-	-	-	-	4件	77kg	2件	300kg
航空貨物	13件	75kg	14件	95kg	10件	67kg	11件	72kg	13件	66kg
国際郵便	20件	23kg	12件	6kg	14件	14kg	11件	2kg	4件	17kg
船舶乗組員	-	-	-	-	1件	0kg	-	-	-	-
合計	101件	302kg	118件	374kg	124件	289kg	50件	217kg	50件	447kg

商業貨物による密輸の大口化！

- 摘発件数は前年と同数だが、押収量は前年から約2.5倍の約367kgと急増
- 海上貨物では、1件の押収量が約150kgの事犯を2件摘発
- 航空貨物では、1件の押収量が10kgを超える事犯を2件摘発



【航空貨物】

平成28年2月摘発
虎の置物内部に隠匿
(約25kg)



【海上貨物】

平成28年11月摘発
小石運搬機内に隠匿
(約150kg)



海上貨物を利用した中国未大量覚醒剤密輸入事件
警視庁(総合五課・航便科)、海上保安庁、東京税関



(2) 仕出地域（国）

- アジア仕出の押収量が全体の約8割を占めた
アジア仕出の押収量の約9割は中国（香港、マカオを含む）
- 中南米及び中東仕出の摘発件数・押収量が減少
- 北米、アフリカ及び欧州仕出は摘発件数・押収量ともに増加

東京税関における仕出地域別覚醒剤摘発実績

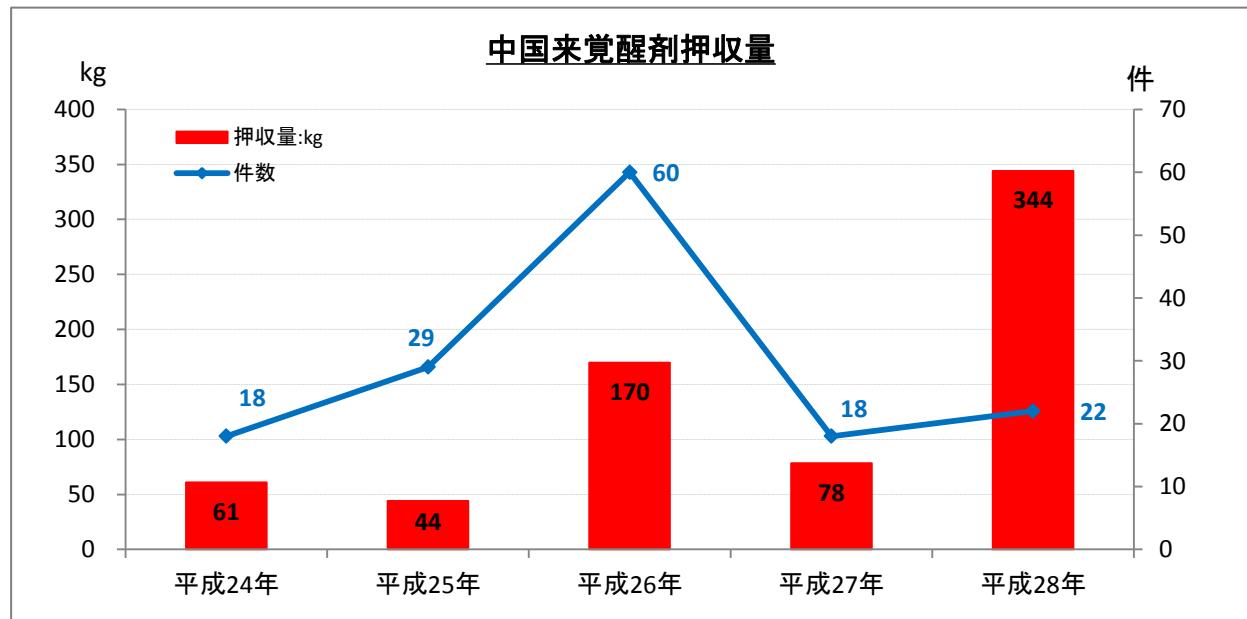
（摘発件数・押収量／構成比）

	平成24年		平成25年		平成26年		平成27年		平成28年	
アジア	30件	30%	54件	46%	90件	73%	33件	66%	31件	62%
	74kg	25%	164kg	44%	201kg	70%	132kg	61%	361kg	81%
中国	18件	18%	29件	25%	60件	48%	18件	36%	22件	44%
	61kg	20%	44kg	12%	170kg	59%	78kg	36%	344kg	77%
北米	9件	9%	9件	8%	3件	2%	6件	12%	8件	16%
	30kg	10%	31kg	8%	0kg	0%	3kg	1%	16kg	4%
中南米	23件	23%	21件	18%	7件	6%	5件	10%	2件	4%
	63kg	21%	72kg	19%	39kg	13%	54kg	25%	27kg	6%
アフリカ	17件	17%	18件	15%	7件	6%	2件	4%	5件	10%
	49kg	16%	81kg	22%	9kg	3%	20kg	9%	38kg	8%
欧州	16件	16%	9件	8%	15件	12%	2件	4%	3件	6%
	37kg	12%	13kg	4%	37kg	13%	4kg	2%	6kg	1%
中東	6件	6%	6件	5%	2件	2%	2件	4%	-	-
	48kg	16%	12kg	3%	4kg	1%	3kg	2%	-	-
不明	-	-	1件	1%	-	-	-	-	1件	2%
	-	-	1kg	0%	-	-	-	-	0kg	0%
合計	101件	100%	118件	100%	124件	100%	50件	100%	50件	100%
	302kg	100%	374kg	100%	289kg	100%	217kg	100%	447kg	100%

※合計は、端数処理の関係上100%にならない場合がある

中国来の覚醒剤押収量が急増！

- 前年の約4.4倍となる約344kgを押収した
- 平成11年（約147kg）以来17年振りに、1件での押収量が100kgを超える事犯を摘発した



巧妙化する隠匿手口！

覚醒剤の密輸入に係る隠匿手口は、より一層、巧妙化！

- ◆ 黒色樹脂様のもの、円形ゴム様のものにねり込み一体形成して隠匿（**国内初摘発**）
- ◆ 缶詰やお菓子内に隠匿

国内初！一体形成して隠匿した事例

黒色樹脂様のものにねり込み、スーツケースの蓋部に一体形成して隠匿した事例



円形ゴム様のものにねり込み、一体形成して隠匿した事例



缶詰やお菓子に隠匿した事例

缶詰内に隠匿した事例

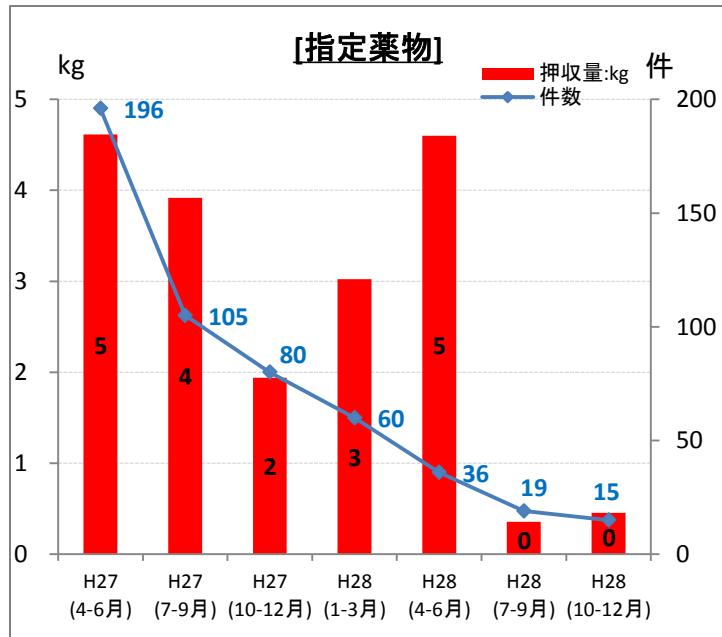
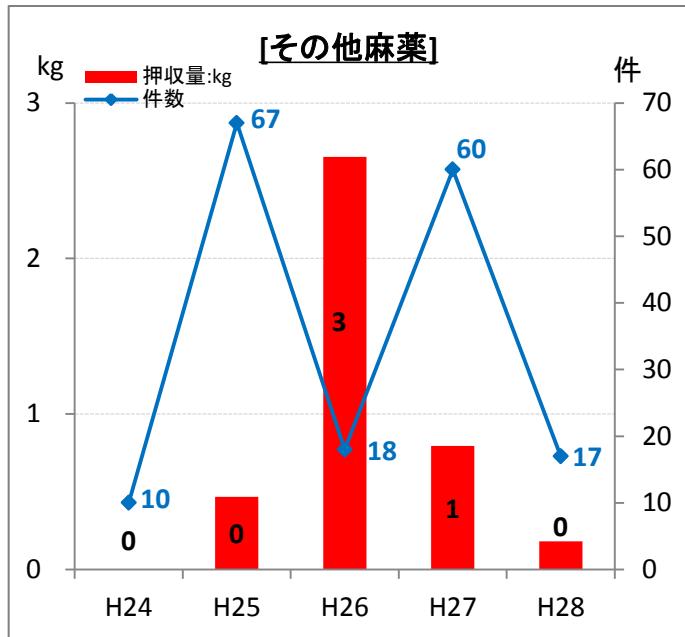
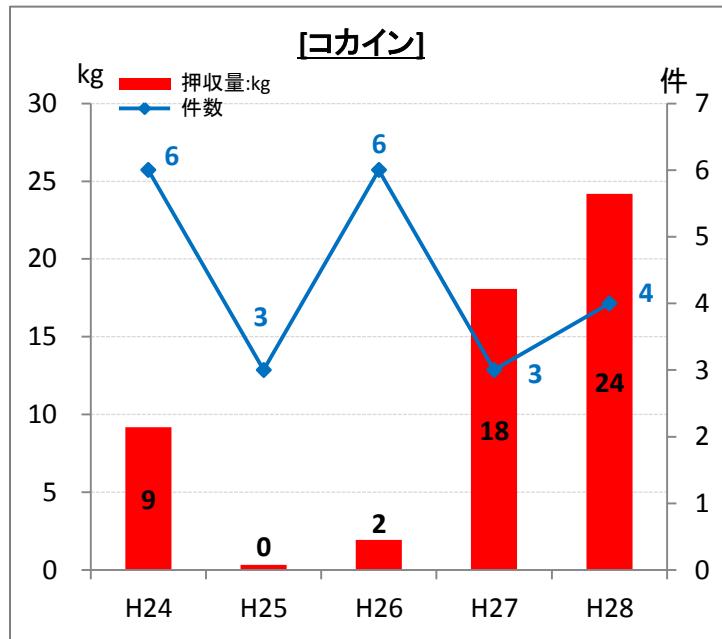
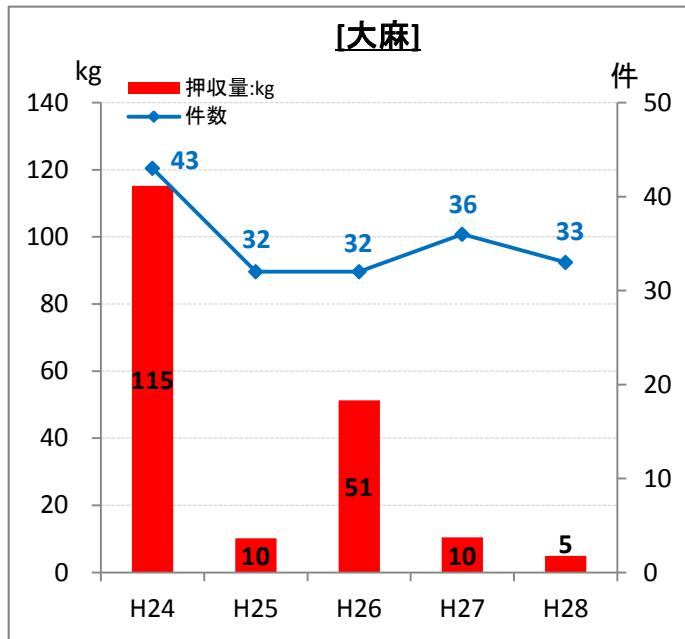


チョコレート内に隠匿した事例



2 その他の不正薬物密輸入事犯の概況

- 大麻の密輸入は、摘発件数・押収量ともに減少
- コカインの密輸入は、摘発件数・押収量ともに増加
- その他麻薬の密輸入は、摘発件数・押収量ともに大幅に減少
- 指定薬物の密輸入は、摘発件数・押収量ともに減少



(注) 平成24年は、錠剤型薬物の押収のみ

(注) 平成27年4月以降の四半期毎で表示

※薬物の数量表記について、「0」とは500g未満を示す

東京税関における社会悪物品の摘発実績

資料1

種類	年	平成28年					前年比
		平成24年	平成25年	平成26年	平成27年		
覚醒剤	件数	101	118	124	50	50	100%
	kg	302	374	289	217	447	206%
大麻	件数	43	32	32	36	33	92%
	kg	115	10	51	10	5	47%
大麻草	件数	29	22	18	21	22	105%
	kg	103	10	29	8	4	49%
大麻樹脂	件数	14	10	14	15	11	73%
	kg	12	0	23	3	1	41%
あへん	件数	-	1	-	-	-	-
	kg	-	0	-	-	-	-
麻薬	件数	27	79	32	72	27	38%
	kg	11	4	6	25	24	98%
	千錠	1	15	0	0	0	0%
ヘロイン	件数	1	1	2	2	-	全減
	kg	1	1	0	2	-	全減
コカイン	件数	6	3	6	3	4	133%
	kg	9	0	2	18	24	134%
MDMA等	件数	4	4	1	1	1	100%
	kg	0	3	0	0	0	794%
	千錠	0	0	-	-	-	-
ケタミン	件数	6	4	5	6	5	83%
	kg	0	0	1	4	0	1%
その他麻薬	件数	10	67	18	60	17	28%
	kg	-	0	3	1	0	23%
	千錠	1	15	0	0	0	0%
向精神薬	件数	17	5	8	2	1	50%
	kg	-	0	-	0	-	全減
	千錠	6	2	3	-	0	全増
指定薬物	件数	-	-	-	381	130	34%
	kg	-	-	-	10	8	81%
合計	件数	188	235	196	541	241	45%
	kg	427	389	346	262	485	185%
	千錠	6	17	3	0	0	42%
(参考) 使用回数	万回	1,079	1,258	1,000	807	1,572	195%

銃砲	件	-	1	-	-	1	全増
	丁	-	0	-	-	1	全増
うち拳銃	件	-	1	-	-	1	全増
	丁	-	0	-	-	1	全増
拳銃部品	件	-	-	2	-	-	-
	丁	-	-	2	-	-	-

(注) 1. 税関が摘発した密輸事件に係る押収量の他、警察等他機関が摘発した事件で、税関が当該事件に関与したものに係る押収量を含む。

2. 覚醒剤は、覚醒剤及び覚せい剤原料の合計数量を示す。

3. 大麻樹脂は、大麻樹脂その他大麻の製品の合計数量を示す。

4. MDMA等は、MDMA、MDA及びMDEの合計数量を示す。

5. (参考)使用回数は、指定薬物を除く以下の不正薬物について、乱用者の通常の一回分使用量をもとに換算し、合計したものである。

(覚醒剤: 0.03g、大麻草: 0.5g、大麻樹脂: 0.1g、ヘロイン: 0.01g、コカイン: 0.03g、あへん: 0.3g、MDMA等及び向精神薬: 1錠)

6. 端数処理のため数値が合わないことがある。

7. 薬物の数量表記について、「0」とは500gまたは500錠未満の場合を示し、「-」とは全くない場合を示す。

8. 平成28年の数値は速報値である。

平成28年における東京税関の摘発事例

【摘発事例1】コーヒー袋内から覚醒剤約10kgを摘発（平成28年5月）

ウガンダから成田空港に到着したウガンダ人男性の携帯品検査で摘発（コーヒーに偽装）



【摘発事例2】LEDライト内から覚醒剤約150kgを摘発（平成28年7月）

中国から到着した海上貨物の検査で摘発（LEDライトの駆動装置内に隠匿）



[摘発事例3] フィルター内から覚醒剤約1kgを摘発（平成28年7月）

香港から到着した航空貨物の検査で摘発（フィルター内に隠匿）



[摘発事例4] 食品内から覚醒剤約20kgを摘発（平成28年8月）

ウガンダから到着した航空貨物の検査で摘発（食品に偽装）



【摘発事例5】置物内から覚醒剤約1kgを摘発（平成28年8月）

中国から到着した航空貨物の検査で摘発（置物内に隠匿）



【摘発事例6】スーツケースから覚醒剤約4kgを摘発（平成28年11月）

マレーシアから羽田空港に到着したフィリピン人女性の携帯品検査で摘発

（スーツケースの二重底工作）



【摘発事例7】プラスチックボトル内等からコカイン約11kgを摘発（平成28年7月）

ペルーから成田空港に到着したペルー人男性の携帯品検査で摘発

（プラスチックボトル内等に隠匿）



【摘発事例8】菓子内からコカイン約10kgを摘発（平成28年10月）

ペルーから成田空港に到着したペルー人女性の携帯品検査で摘発（菓子に偽装）

